

# 山形県感染症発生情報

第11週(平成22年3月15日～平成22年3月21日)

疾患名	報告数	増減	特記事項
(インフルエンザ定点 48)			
インフルエンザ	65	▽	多発中
(小児科定点 30)			
RSウイルス感染症	12	▽	
咽頭結膜熱	13	▲	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	131	▽	多発中
感染性胃腸炎	440	▽	多発中
水痘	34	▽	
手足口病	40		
伝染性紅斑	12	▲	
突発性発しん	17	▽	
百日咳	0	▽	
ヘルパンギーナ	2	▲	
流行性耳下腺炎	78	△	多発中
(眼科定点 8)			
急性出血性結膜炎	0		
流行性角結膜炎	5	△	
(基幹定点 10)			
クラミジア肺炎	1	△	
細菌性髄膜炎	0		
マイコプラズマ肺炎	4	▲	
無菌性髄膜炎	0		

(▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少、多発中:報告数50名以上)

疾患名	報告数			累積報告数 (*平成22年1月～)	
	第11週	1週前	2週前		
2類感染症	結核	3	5	0	30
3類感染症	コレラ	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	6	1	8
	パラチフス	0	0	0	0
4.5類感染症	E型肝炎	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	1
	アメーバ赤痢	0	0	0	2
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0
	急性脳炎	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	0
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0
	梅毒	0	0	0	0
	破傷風	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1
	風しん	0	0	0	0
	麻しん	0	0	0	0

- 1 本県のインフルエンザ定点当たり報告数は1.35人で、前週とほぼ横ばいであった。  
衛生研究所のウイルス分離結果によると、3月16日現在、型別は新型(A/H1N1)のみ検出されており、季節性は検出されていない。
- 2 感染性胃腸炎が、前週から約2割減少している。最上地区では増加しているが、村山・置賜・庄内地区で減少した。  
南陽市・鶴岡市で定点当たり報告数が多い(南陽市:26.5人、鶴岡市:26.0人)。
- 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、庄内・置賜地区で減少傾向にあるが、定点当たり報告数が多い(米沢市:13.5人、鶴岡市:7.8人)。
- 4 流行性耳下腺炎が、依然として庄内地区で流行している(定点当たり報告数 酒田市:11.3人、鶴岡市:4.8人)。
- 5 手足口病が、置賜地区で定点当たり報告数が多い(長井市:7.0人)。  
全国的には例年並みの流行となっているが、本県では置賜地区を中心に例年に比べ多発している。
- 6 伝染性紅斑が、鶴岡市で増加している(定点当たり報告数:3.0人)。
- 7 結核の患者が村山地区から1名(東南村山)、置賜地区から1名(東南置賜)、無症状病原体保有者が村山地区から1名(東南村山)報告された。

(3月24日現在 山形県衛生研究所)